

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（登米町）

(平成29年1月末現在)

分 野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
①議会運営、議員	議会改革が宮城県第2位の理由は。	議会	いかに情報公開されているか、住民がどの様に参加しているかがポイントとなっています。通年議会、タブレット導入、意見交換会などで出た意見をまとめて市に政策として上げていくなど、総合的に評価された結果と理解しています。
②意見交換会	なぜ意見交換会の参加者が少ないのか。もっと多くの人に参加してもらうように工夫してもらいたい。	議会	ご意見として、拝聴いたします。
④シティプロモーション	登米市の魅力は、それぞれの町のいい所がたくさんある。それを市民に知らせ、発信していく事が必要。栗原ではテレビ・ラジオで宣伝している。登米市もできないか。	企画部 企画政策課	シティプロモーション事業として、委員会で継続調査を行います。
	30代、40代の若い世帯に優遇するのでもいいが、定年して帰って来たり、年をとってから登米市に戻って来て住むという計画があってもいいのではないか。	企画部 企画政策課	
⑦公共施設、跡地利用	蛭沢地区に工業団地が建設される計画だが、それに合わせて工場見学に来た子どもたちが遊んだり、近くの登米高校の陸上部の生徒が練習できるよう、大きな公園を作ってほしい。	産業経済部 工業振興課・商業観光課	担当部署へ確認したところ、「現在造成している工業団地は、雇用の場を創出するため、すべて企業に売却する予定で、団地内に公園を作る予定はありません。」と回答がありました。
⑩病院	米谷病院の改革と、登米市民病院の評判の悪さはどうなっているか。	医療局 総務課	合併後の病院改革プランの変更により、米谷病院も存続することになりました。機能分担と、不足している療養病床を増やすために改築されるものです。登米市民病院の患者対応については、その都度改善されているものと考えています。
⑫市民生活、健康推進	地域の一人暮らしのお年寄りが、冬の雪かきに大変苦勞している。もう少しそういう所に力を入れてほしい。	建設部 土木管理課	ご要望として、拝聴いたします。
⑮観光、移住、定住	移住・定住者を増やすため、具体的にどのような対策があるのか。	企画部 企画政策課	若い世帯を対象に、市内へ移住・定住するため、住宅を新築または購入する場合は上限60万円、空き家を改修する場合は上限50万円、アパートなど借りる場合は月額1万5千円の家賃補助などがあります。詳しくは担当課へご確認願います。
	鈴木邸(登米町前小路の交差点)の武家屋敷の門の「解説板」は、門の事しか書いていない。どういう人たちが住んでいたのかなど、作った時に、もっと考えてもらいたかった。	建設部 住宅都市整備課	担当部署へ確認したところ、「旧鈴木邸の一部を譲り受け、市で門を活かした小公園として整備をしたもので、看板については有識者に意見を伺いながら作成していたものです。現在、市では春蘭亭に隣接する旧小関邸周辺を小公園の整備や新懐古館建設などの整備を計画しております。今後、歴史文化的価値のあるものについての表示方法の在り方については、ご意見を参考に検討させていただきたいと考えています。」と回答がありました。
	新しく予定されている懐古館の敷地内にある藁ぶき屋根の建物(茶屋)の玄関は、武家屋敷にふさわしいものに直してほしい。	建設部 住宅都市整備課	担当部署へ確認したところ、「現在、古民家(旧小関邸)及び門・塀を改修し小公園を目的として整備を進めています。門・塀については東日本大震災によって倒壊し、所有者が修復を行わない意向であったことから市が用地の一部を取得し、春蘭亭の門を参考に修復を完了しています。また、古民家については複数年で改修に取り組んでおり、今年度内装工事が完了し、平成29年度に外壁や外構について整備する予定としています。本事業は整備の途中ではありますが、周辺の景観に配慮した小公園の整備を進めてまいりたいと考えています。」と回答がありました。
⑮補助金	防犯協会の補助金が減らされている。補助金の適正化委員会は機能しているのか。	市民生活部 市民生活課	補助金については、市の補助金適正化審査委員会で決定されています。

登米市議会意見交換会質問・意見等に対する回答一覧表（登米町）

(平成29年1月末現在)

分 野	質問・意見・要望・提案の内容	担当課	回 答
㊼その他	最近熊が出てくることが頻繁に起きているが、どういう対処をしているのか。事故が起きてからでは遅いので、素早い対応・処置をしてほしい。	産業経済部 農産園芸畜産課	担当部署へ確認したところ、「本市内におけるクマの生息状況について、県ツキノワグマ保護管理計画では、東和町の一部地域で生息が確認されておりますが、市内では4月6日から11月10日までの期間で迫、登米、東和、豊里、石越、津山の各地域で、44件の目撃や足跡の情報が寄せられており、平成27年度の目撃情報が2件のみだったことを踏まえると、今年度は急増しております。 市では、クマの目撃情報等が寄せられた場合は、市民の皆様の安全を確保するため、速やかに防災行政無線放送や防災メール等で注意喚起を行っております。また、クマが市街地や集落、農地付近に留まるようであれば、箱わなによる捕獲を実施してまいります。 個人でできる対策としては、ツキノワグマは基本的には臆病な性格ですので、山林付近に外出する際には、音が鳴るものを身に着けるなどして、人間の存在をアピールし、クマを近づかせない対策をしていただきますよう、お願いいたします。」と回答がありました。
	女川原発再稼働ということが言われているが、どう考えているのか。	議会	全会一致で再稼働反対の意見書を提出しています。
	町内会(羽沢地区)で砕石の事が問題となっている。東北石材会社が、26年2月26日から30年2月23日までの契約をしている。それには、市は「何ら意義はありません」という意見をつけている。町内会では、平成5年から粉じん、道路の汚れ、ダンプの往来の問題などがあり、市の考えに不信感を持っている。議会として調べてほしい。	産業経済部 工業振興課 市民生活部 環境課	砕石の認可を行っているのは宮城県です。本市では、その認可にあたり事前に県と協議を行っていますが、その回答には意見を付しており、手続き的に問題はありません。 許可どおり履行されているかどうか確認するのは、砕石を認可している県であることから、まずは当事者である地域から、許可者である県と協議すべきと考えます。
	給食の材料は、登米市の業者は18%しか納めていない。他市からの業者に賦課をかけられないか(手数料として)。	教育委員会 教育総務課	担当部署へ確認したところ、「いろいろな物品を業者から納入してもらう際、国内産業の保護を主目的とする保護関税のように上乘せする仕組みはありません。登米市には新鮮で安心な食材が豊富にありますので、今後も学校給食に利用していきたいと考えます。なお、平成27年度における学校給食への市内業者からの納入割合は、金額ベースで27.4%、重量ベースでも28.1%となっているところです。」と回答がありました。